

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 30 年度 第 1 回常任理事会 議事録

日時：平成 30 年 7 月 10 日（火） 19：30～21：15

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、寺門、小森、大内、武士、荒井、磯、宇都木

欠席：角田、笈

書記：開江（総務副部長）

平成 30 年 7 月 10 日 19 時 30 分、茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）において、理事 8 名出席の下、常任理事会を開催し下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、21 時 15 分散会した。

【Ⅰ 審議事項】

1. 会員カード・会員シールについて → 継続審議 (磯庶務部長)
 - ・現在の県士会会員カードは 5 年間の使用となっており（現在配布しているカードはシールを貼る枠が 5 枠）今年度分でシールを貼る枠が無くなる会員がでてくる。シールを貼る枠が無くなった会員をリストアップしカードを送付していく作業は困難な状況となっている。
 - ・今後の会員カード・シールの取り扱いについての審議が行われた。案としては、①日本作業療法士協会の研修カードに県士会シールを貼る。②会員シールを廃止し会員カードを毎年発行する。（現在の単価：シール 20 円、カード 80 円）③協会発行の研修カードのバーコードを利用していく。
 - ・会員カード、会員シールの使用用途としては、入会状況、会費納入を確認するために使用される。より簡略化された形となるよう協会発行の研修カードを利用していく形で検討された。
 - ・研修カード内の会員データベースに、当士会の入会状況と会費納入についてのデータも載せていくことを協会に打診はしている。
 - ・協会員と県士会員の会員番号は同じとなっているため、研修カードのバーコードと県士会データベースを使用して入会状況、会費納入について照合していくことも検討。
 - ・会費の納入状況は県士会所有のデータベースに入力済みの為、研修カードのバーコード（会員番号）を利用して、会費の納入について確認をしていくことが可能と思われる。
 - ・今年度までは例年通りシールの発行、新入会者へのカード送付を行い、次年度以降に研修カードを利用したシステムに移行できるか、今年度の第 3 回常任理事会までにシステムを構築してトライアルを実施し検証する。
2. 講師のマイナンバー提出について → 一部修正の上承認 (武士財務部長)
 - ・これまでは研修会等すべての講師にマイナンバー提出を依頼していた。
 - ・法定調書の提出については、報酬の支払をする者毎に金額の判定を行う。講師へ支払う報酬が 50,000 円を超える場合にマイナンバーが必要となっている。
 - ・マイナンバーが必要となった場合のデメリットはなく、講師の方と連絡が取れるようにしておけるようにしておけば問題はない。
 - ・そのため、講師謝金が年間で 50,000 円を超える見込みがなければマイナンバーは提出しなくても問題ない。担当理事が講師謝金総額を確認する。怪しければ財務部で報酬額の確認を行う。
 - ・規定の見直し修正を行っていく。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. いきいき茨城ゆめ大会進捗状況について (荒井総務部長)
- 1) 平成 30 年度全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会について

- ・7月7日（土）・8日（日）茨城県水戸市生涯学習センターにて実施され、当士会より荒井（水戸赤十字病院）、柘植（筑波セントラル病院）、浅野（石崎病院）、三木（総和中央病院）の4名が参加。
- ・7月13日～15日まで、第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）の参加資格審査の視察及び実務研修に荒井が参加予定。

2) コンディショニンググループ運営について

①障スポコンディショニンググループ運営検討部会第1回会議（I B A T主催）

- ・6月7日（木）15:30～17:00 茨城県県南生涯学習センターにて、茨城県アスレティックトレーナー協議会（I B A T）が取りまとめ役となり第1回運営検討部会を開催し、柘植が参加。
 - ・他団体との調整の上、当士会はバレーボール（知的）；結城市、バレーボール（精神）；ひたちなか市、フライングディスク；水戸市での会場の担当となる。
 - ・今後の予定として、各会場のリーダー（2名）を決めリーダー研修会を実施していく。また運営従事者を募り（H31年4月以降）従事者に対する研修会の開催を予定している。
- ⇒I B A Tとして予算が取れないため、各団体からの予算にて検討している。
当士会としても、他団体と足並みを揃えて予算を算出していく。

②第1回コンディショニンググループ運営検討会議（県主催）

- ・7月3日（火）14:00～16:00 茨城県水戸生涯学習センターにて開催され、柘植・荒井が参加。
- ・6月7日の会議にて決まった担当会場案にて決定。
- ・10月12日（金）～15日（月）の間に2泊3日で福井大会のコンディショニンググループの視察に柘植が参加予定。
- ・8月10日（金）までにコンディショニンググループにて実施可能な内容（ストレッチ・テーピング・アイシング等）、派遣可能人数、必要な消耗品についての調査票を県に提出する。⇒柘植が担当。
- ・開催地域のコミュニティディレクターに対してボランティアの依頼をしていく。

2. 平成30年度事業計画の変更届について

（荒井公益対策委員長）

- ・保険情報関連の相談窓口の運営・福祉用具相談支援システムの運営（OT協会委託事業）・地域ケア会議人材育成研修について、県から変更届が必要との連絡があった。
- ・各事業の詳細を確認し、変更届の下書きを荒井委員長の方で作成し、県の担当者に確認の上、提出していく。
- ・地域ケア会議人材育成研修会に関しては、作業療法士が大多数を占める研修会にケアマネジャーが参加する形となるため、変更認定ではなく変更届となる。

3. 第11回茨城県作業療法学会進捗状況について

（宇都木学会部長）

- ・各講演のテーマ、講師が決定しつつある。基調講演のみ、依頼済みではあるが返信が来ていないため未決定となっている。決定次第報告していく。
- ・例年通りの自助具アクティビティーコンテスト、当事者作品展、ユーザー支援事業紹介、福祉機器展示に加え、写真展を今年度より実施する。
- ・自助具アクティビティーコンテストについては、例年通りの実施方法に加え、既存の自助具の実践例も含めて実施していく予定となっている。
- ・今年度より出展企業へのプレゼン時間を設けている。賛助会員の幸和義肢には少し長めの時間設定を行っていく。
- ・演題募集を近日中に開始予定。演題募集の案内は早めに実施していく。システムについても準備済み。演題登録システムについてはトライアルも実施済み。
- ・名義後援として茨城県、高萩市、北茨城市、日立市、阿見町、PT、ST、IRPA、PSW、CM、Dr、Nrs、病院協会、精神支援協会等に後援依頼を打診する予定。
- ・学会ポスターについては原案を作成中。ポスターの発送時期については9月を予定。次回の定期郵送（一ヵ月に一回の頻度で実施している。）と同封できればと考えている。原案が完成次第相談していく。
- ・実行委員の依頼文、委嘱状は発送済みとなっている。

4. リハケア学会について

（小森事務局長）

- ・平成 30 年度のリハケア学会は 2 月 24 日（日）に開催予定。
- ・阿部 OTR（水戸済生会病院）が実行委員となっている。
- ・シンポジウムに OT を一名。3 演題（栄養関係）を OT から出してほしいとの依頼があった。
- ・シンポジストの人選については宇都木学会部長、大内事務局次長、阿部実行委員で選定していく。
- ・ホームページに案内を掲載していく。

5. 介護ロボットニーズ・シーズ関連について

（小森事務局長）

- ・日本作業療法士協会の事業となる。
- ・今年度実施される単年度の事業となり 7 月 6 日（金）にワーキンググループを立ち上げて始動した。
- ・ワーキンググループの人員としては、12 名となっており、人員が不足する際はその都度アルバイトの形で県士会員へ依頼をしていく予定である。
- ・シーズ側として、県、日立ライフ、産総研、福祉サービス振興会となっている。
- ・今後は、特定施設を選定しニーズ調査を実施していく。

6. 事務局員の雇用について

（大場会長）

- ・1 日/週で茨城県作業療法士会事務局員一名雇用する予定となっている。人選についても検討している。
- ・事務局業務としては、介護ロボット関連の事務作業に加え、県からの事業に対するコーディネーターを兼任して依頼する予定。

7. 自動車運転委員会関連について

（小森事務局長）

- ・今年の 5 月に東京工科大の澤田先生に講演を行っていただいた。県庁や各教習所とのキックオフができ、教習所関連や県とのつながりもできてきた。今後の委員会の動きを考えると委員会体制の見直しが必要となっている。（人員増）
- ・機能訓練事業を県から委託されている施設へ委員の協力を依頼する。
- ・自動車教習所教員と茨城県作業療法士会で横のつながりを持ちながら、当士会としては自動車運転につながる人材を育成していく方針。
- ・作業療法士として高次脳機能障害や認知症等の知識は十分にあるかと思われるが、自動車運転と紐づけることができるかとなるとまだ難しい点もある。人材育成、スキル向上を目的に自動車運転、高次脳機能障害、認知症をキーワードに研修会を開催していく予定となっている。
- ・茨城県において今年 12 月頃千葉の OT 藤田先生が茨城県で講演を予定しており、委員会の目的でもある人材育成の一つとして県と協働して行えるか検討していたが、現況、補助金事業であり、協働はむずかしい。そのため、研修会としては、当法人も HP 上等で案内を行い、OT の参加を促すとともに教習所教員とのつながりを消さないためにも意見交換会等の実施も検討する必要がある。

8. 西日本の大規模災害について

（大場会長）

- ・学術局における研修会、県学会で募金箱を設置して募金を集める。県士会としても時期を見て義援金を振り込む予定。

9. 臨床実習指導者研修会について

（大場会長）

- ・平成 32 年度入学生から適応されていくため、県内でも随時研修会を開催していく予定である。

10. 第 2 回常任理事会について

（荒井総務部長）

- ・次回第 2 回の常任理事会を 9 月 9 日（日）9：00～で開催を予定しているが、常任理事の出欠確認後に再度日時を調整する。